

2018年2月 関西シルバーバーチ読書会感想文

小林 良夫

昨年11月の「再生観」から3か月たった2回目の「再生観」です。「再生観」について、私はこの3か月間 もやもやしていることがあり、今回の読書会で解決しようと思っていました。

シルバーバーチの再生観は下記の4つからなりたっています。

1. 類魂が再生のメカニズムの元
2. 再生の主体は何か
3. 再生の目的
4. 再生に対する自己選択・自己決定

この4点を考える時に間違えてはいけないことがあることをこの読書会で教えていただきました。。

1の類魂と2の再生の主体の問題は霊ではなく、霊の表現をする「霊の心」に関することであるということ。

3の再生の目的と4の再生に対する自己選択・自己決定については神の分霊として永遠不滅の「霊」に関することであるということ。

この3か月間、もやもやしていたのは「霊」と「霊の心」がごっちゃになっていて、はっきり分けて考えていなかったからだということがわかりました。

「類魂」「再生の主体」→「霊を表現するための霊の心」

「再生の目的」「再生の決定」→「神の分霊としての永遠不滅の霊」

このように分けて考えると サラサラと理解することができました。とても すっきりしました。